

人口減少時代の地域づくり

由布市のこれからの

地域づくりを考える

- ✓地域づくりに興味がある方
 - ✓自分の地元を盛り上げたい方
 - ✓自治体職員や学生の皆様
- どなたでも無料でご参加いただけます！！

第1部 基調講演

講師：総務省自治行政局地域政策課長

大森 康宏 氏

演題

地域運営組織（RMO）と地方創生



～来歴～

東京大学法学部卒業（奈良県出身）

H8.4 自治省入省

H8.7 大分県総務部地方課（～H10.3）

H31.4 総務省自治行政局公務員部応援派遣室長

R2.7 内閣官房東京オリンピック・東京パラリンピック
推進本部事務局参事官

R4.1 総務省自治行政局選挙部政党助成室長

R4.7 岐阜県副知事

R7.7 総務省自治行政局地域政策課長

第2部 パネルディカッション

由布市の地域振興についての課題とこれからの取組について
地域で活躍されている皆様とともにディスカッションします。



コーディネーター：株式会社 地域科学研究所 西田 稔彦

パネリスト：大分県内で地域振興に取り組まれている方々

【日時】10月11日（土曜日）14:30～16:30(14:00開場)

【場所】庄内公民館（由布市庄内町大龍1400番地）

【主催】大分県 【共催】由布市（由布市制施行20周年記念事業）

【運営】(株)地域科学研究所

【参加費】無料

【申し込み】右の二次元コードから
お申込みください。



※お申込みURL



※講演会詳細
（大分県HP）

＼ 参加無料 ＼

2025

10/11(土)

会場
庄内公民館

パネリストの紹介

大津留まちづくり協議会（由布市庄内町）

事務局長 首藤 啓治 氏



旧大津留小学校を拠点に、毎月のおおつるマーケットやカフェ、夏祭り、広報誌発行、耕作放棄地における農業生産活動など多彩な活動を展開。住民主体で、地域外との人の交流も積極的に行う。

箸屋一膳

西原 郁子 氏



Uターンで2009年より由布岳の麓に工房兼ショップ「箸屋一膳」を夫婦で営む。地産の木材を使った手作り箸や箸作り体験を通じて、木の温もりや地域の魅力を伝える。ゆふいんラジオ局サウンドコンサートにも出演。

奈狩江地区住民自治協議会（杵築市）

会長 木村 謙次郎 氏



平成22年設立。「次の世代へつなげる活力ある奈狩江」を目標に、花いっぱい運動や海岸清掃、子ども向け体験イベント、カフェなど、住民主体のまちづくりを進める。若い世代など協議会メンバーが主体的に活動に取り組む。

一般社団法人コミュニティサポートおおいた

代表理事 清水 敦史 氏



県内各地で地域運営組織（RMO）の設立や運営支援、行政職員向け研修など、住民や行政と連携しながら、持続可能なまちづくりのサポートを行う。地域の声に寄り添い、「来てよかった」と思える場づくりを広げている。

地域運営組織（RMO）とは？

地域運営組織は小学校区単位等の範囲において、地域住民全員に加え、自治会やPTAなど地域内の様々な主体が参加し、地域イベントの運営や広報誌の発行、声掛け・見守り等の地域活動に取り組む組織です。現在、由布市では、「大津留まちづくり協議会」「谷むらづくり協議会」「阿蘇野・直山まちづくり協議会」「ゆのひらんプロジェクト」の4つの組織が設立され、各地域の特色を生かした活動が行われています。

これからの地域づくりとは？

人口減少が進んで行く中、自治会等における活動の継続が困難になりつつある地域が増えています。このような中、地域住民が主体となった賑わいの創出、若い方や子育て世代等が関心を持って気軽に参加できる場づくりが重要です。こうした地域の課題に向き合い、世代や立場を超えて1人1人が地域の未来を考えるきっかけとしていただければ幸いです。

